

## 19. 自己点検・評価

本学は3年サイクルで全学的な自己点検・評価を実施しており、平成16年度が第4回目の実施年度となる。今次の自己点検・評価においては、従来ややもすると形式的な活動に陥りがちであった自己点検・評価活動をより実質的なものとし、学内にPDCAサイクルを構築することを到達目標とする。活動にあたっての重点事項は、教育研究水準の維持向上である。またその結果については、ホームページ等によって外部に公開し、社会の評価を受けることとする。

### (一) 大学・大学院の自己点検・評価

#### (1) 自己点検・評価

平成3年(1991年)の大学設置基準の改正を契機として、平成4年から大学評価委員会を設けて積極的に対応し、平成7年に第1回目の自己点検・評価報告書を刊行して以来、これまでに3年周期に定期的に自己点検・評価を実施している。平成16年度が第4回目の自己点検・評価の時期であるが、今回の自己点検・評価は、大学基準協会の認証評価(相互評価)を前提として行うので従来の点検評価項目と異なり、より多くの点検・評価項目(A群、B群)について実施しなければならない。なお、平成4年度から3年周期で取組んでいる本学の自己点検・評価に関する詳細は、第一章「はじめに」に述べている。

本学の自己点検・評価委員会は、福岡工業大学自己点検・評価委員会規程に基づいて組織化され、平成16年度の構成委員は学長を委員長、教務部長を副委員長とし、学部長、研究所等の各部長、各学科長及び管理事務職員の合計26名である。点検・評価に際しては、下記のような点検・評価分科会を設けて、分科会の長(下線部)が責任を持って点検・評価する。なお、研究活動については、学部と大学院の兼務教員が多いことから、研究活動評価分科会において学部と大学院をまとめて点検・評価する。点検・評価に関わる本制度システムの分科会の構成は以下のようである。

#### (イ) 学部の教育研究関連

- ・学部分科会・・・工学部分科会(学部長、各学科長)、情報工学部分科会(学部長、各学科長)、社会環境学部分科会(学部長、学科長)、
- ・人文・社会・保健体育科目分科会・・・3名(内責任者1)
- ・外国語分科会・・・3名(内責任者1)
- ・教職課程分科会・・・1名(責任者)
- ・教育活動評価分科会・・・教務部長、学生部長、各学部長

#### (ロ) 大学院の教育研究関連および大学の研究活動関連

- ・研究科分科会・・・工学研究科(研究科長、各専攻主任)
- ・研究活動評価分科会・・・研究科長、各専攻主任、各研究所長、社会環境学部1名